

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 記載例

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年〇月〇〇日

石川県知事 殿

**提出日を記入**

提出者

**法人代表者(又は支店等の代表者)を記入、代表者印及び社印等の押印は不要**

住所 石川県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号  
氏名 〇〇株式会社  
代表取締役 石川 一朗  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	〇〇株式会社 △△工場
事業場の所在地	××市××町××丁目×番地
事業の種類	□□ □□業 <b>「事業の種類」は、日本標準産業分類の中文コード及び事業区分を記入例) 83 医療業</b>
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日 <b>「計画期間」は昨年4月1日から、翌年3月31日を記載</b>

## 産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	〇〇 t	全処理委託量	〇〇 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

**目標値については、前年度に提出した産業廃棄物処理計画書に記載した目標値を記入して下さい。**

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況については、前年度（令和6年度）の排出量（実績値）を記載して下さい。また、産業廃棄物の種類が2種類以上ある場合は、種類ごとに1枚ずつ作成して下さい。（このページをコピーして使用して下さい）

計画の実施状況

事業場から発生した産業廃棄物の種類ごとの廃棄物の総量を記入して下さい。（木くずなら、木くずのみの総量）

(産業廃棄物の種類：)

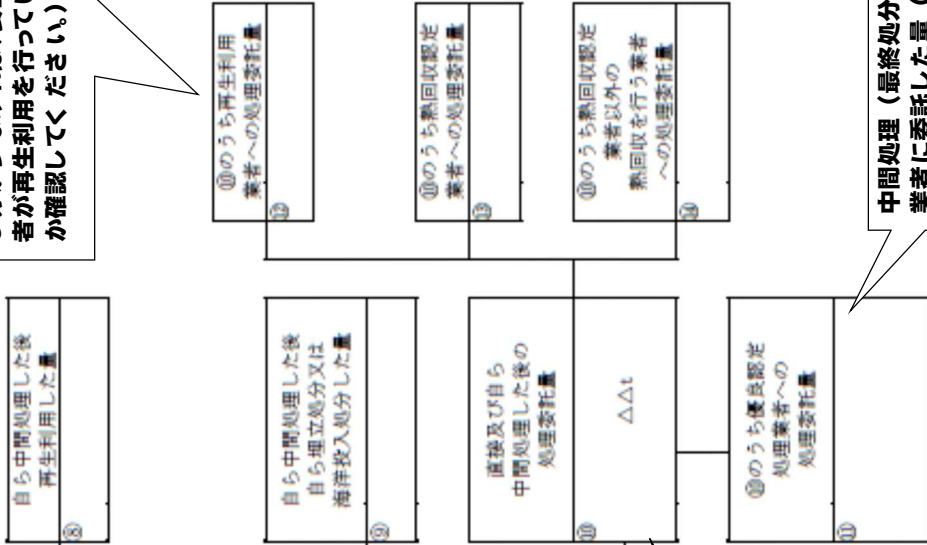
「自ら～」と記載されている箇所は、自社内の施設で処理等を行った際に記入します。自社内に処理施設がない、もしくは処理業者に委託処理している場合は、⑩に委託量を記載して下さい。

中間処理及び最終処分を処理業者に委託した内、再生利用業者へ委託した量を記入して下さい。（もし分かなければ、委託業者が再生利用を行っているか確認して下さい。）

項目	実績値
①排出量	〇〇t
②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳+㉑+㉒+㉓+㉔+㉕+㉖+㉗+㉘+㉙+㉚+㉛+㉜+㉝+㉞+㉟+㊱+㊲+㊳+㊴+㊵+㊶+㊷+㊸+㊹+㊺+㊻+㊼+㊽+㊾+㊿	〇〇t
①自ら直接再生利用した量	××t
②自ら直接焼立処分又は海洋投入処分した量	△△t
③自ら中間処理した量	□□t
④自ら中間処理した後の残量	□□t
⑤自ら中間処理により減量した量	□□t
⑥自ら中間処理した後の再生利用した量	△△t
⑦自ら中間処理した後の焼立処分又は海洋投入処分した量	△△t
⑧自ら中間処理した後の再生利用した量	△△t
⑨自ら中間処理した後の焼立処分又は海洋投入処分した量	△△t
⑩全処理委託量	△△t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熟回収認定業者への処理委託量	
⑭熟回収認定業者以外の熟回収を行う業者への処理委託量	

右のフロー図に記入した実績値を記入して下さい。（単位はトン）

(第2画)



中間処理（最終処分）を処理業者に委託した量（トン）を記入して下さい。

中間処理（最終処分）を処理業者に委託した量（トン）の内、優良認定処理業者へ委託した量を記入して下さい。

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。